

「町民みんなので体力作りを」

平成27年度 第1回 浦幌町教育の日実践交流会

6月20日、浦幌町中央公民館にて浦幌町小中一貫「コミュニティスクール（CS）」委員会主催の「教育の日実践交流会」が開催されました。平成27年度の浦幌町教育の日のメインテーマである「体力」と「読書」のうち、第1回の今回は体力向上を重点におき、身体的能力の基礎を養い、病気がら身を守る強い体をつくるため、地域総ぐるみで体力向上について考え、運動に取り組む機会をつくり、「早寝・早起き・朝ごはん（あいさつ・ノーテレビデー）」運動をより一層推進することを目的として開催しました。

オープニングセレモニーでは、林小中一貫CS委員会会長による主催

者挨拶、水澤町長の来賓挨拶の後、浦幌小学校仲野教諭から浦幌学園の小中一貫CSの活動について「各学

校におけるCS掲示コーナーの設置状況、CSカレンダーの作成・発行、学校支援ボランティア推進など」の情

◆学校実践紹介

報提供をいただきました。上浦幌学園では「目指せ沖縄！上浦チャレンジマラソン！」と題して上浦幌中央小学校の重泉教諭、六年生の川上遥音さん、佐藤一花さん、上浦幌中学校の川口教諭から寸劇などによる実践紹介がありました。沖縄までのマラソンとなると距離

が長すぎて、絶対に無理と思いきや二年間をかけ、皆で毎日少しずつ実践していけば出来るんだ、やれるんだ、そんな上浦幌学園のやる気・チームワークを感じる発表でした。

次に、浦幌学園では「バドミントンクラブの活動を通して地域連携・協働事業の一例」と題して、浦幌中学校の小室教頭からバドミントンクラブの設立の経緯や取組について紹介され、バドミントンクラブの和田指導員からバドミントンクラブの活動方針として「用具を大切にすること、しっかりと挨拶すること、折れない心を養い文武両道を目指すこと」など地域が連携して、小中一貫教育を行うことの大切さのお話をいただきました。



仲野浦幌小教諭による情報提供



上浦幌学園のチャレンジマラソンについて説明する川上さん（左）、佐藤さん



浦幌学園の実践発表をする和田さん（左）、小室教頭

「フオアグラつ子」増加、文武両道を

◆講演及び実技指導

講演及び実技指導では、札幌市新琴似中央整骨院の森脇俊文氏を招き、「体力向上を目指す環境づくり」と、楽しく体を動かすために」と題して、講演会を開催しました。

前半の講演では、道内の児童生徒の体力が低下している理由の一つに冬期間の運動不足があり、戸外で雪



森脇氏による実技指導の様子

に親しむ「雪育(ゆきいく)」の重要性について力説されました。また、昔は、子どもたちのほとんどが、元気に外で遊び、健康で健全な体をそなえていました。しかし、年々子どもたちの一日平均の歩数が減少し、肥満体型の「フオアグラつ子」が増えており、心配な状況であることが指摘されました。

以前は遊びすぎる子どもの学力低下が心配されていましたが、近年は運動をして何事にも集中できる子どもたちこそ学力が向上している傾向が顕著であるとのこと。まさしく、文武両道が大事であります。

また、後半の実技指導では普段の姿勢が大切で自分の身体を支え切れない児童生徒対策として、参加者全員が「コアキッズ体操」の実技指導を受け、背筋を伸ばす習慣を身に付けること、全身を使って遊ぶことの大切さを提案され、赤ちゃんから幼児・学童と成長過程に合わせた体幹や手足の運動

機能を鍛えることが重要であることの指導をいただきました。

最後に出口副会長より閉会挨拶を行い、交流会は終了しました。

◆次回は10月24日予定

平成27年度第2回浦幌町教育の日実践交流会は、10月24日(土)中央公民館を会場に開催します。詳しい内容については、改めてお知らせいたします。

実践交流会日程

- 9:00 オープニングセレモニー
主催者挨拶、来賓挨拶
情報提供「小中一貫CSについて」
- 9:20 学園実践紹介
上浦幌学園「目指せ沖縄！
上浦チャレンジマラソン！」
浦幌学園「バドミントンクラブの活動を通して
～地域連携・協働事業の一例」
- 10:00 講演及び実技指導
- 11:50 閉会挨拶

「早寝・早起き・朝ごはん(あいさつ・ノーテレビデー)」運動は毎日展開中